

# 所沢駅の配線と西武ドームへの臨時電車

さだばさし



## 1.はじめに

西武線を使ったことがある人ならわかるであろう違和感。そして、疑問。なぜ、所沢駅は池袋線の池袋方面と新宿線の本川越方面、池袋線の西武秩父方面と新宿線の西武新宿方面が同じ方向へ発車していくのかを。普通、違う路線でも都心へ向かう上り列車と郊外へ向かう下り列車は同じ方向に発車するのではないか…

また、埼玉西武ライオンズファンの聖地、場外ホームランが出る西武ドームへの臨時電車についても触れていきます。

## 2.所沢駅前後の配線



地図を見ていただければわかるように、所沢駅には新宿線がまっすぐ進入しているのに対し、池袋線は大きくカーブをして進入していきます。  
これには歴史的な背景があります。

新宿線と池袋線は今となつては同じ「西武鉄道」という経営会社ですが、元々は別の会社でした。

まず、新宿線は同じ社名でも今とは全く違う「西武鉄道」でした。今回は区別のためにあえて、「旧・西武鉄道」と表記します。

この旧・西武鉄道の歴史について軽く触れます。

旧・西武鉄道の始まりは1894年12月21日に現在の国分寺線の国分寺駅と東村山駅の間を開業させた川越鉄道です。その後、武蔵野水電に吸収合併され、さらに帝国電灯という会社に吸収合併され、1922年8月15日に旧・西武鉄道に社名変更されました。1927年には現在の高田馬場駅と本川越駅の間を運転を開始しています。

そして、池袋線は「武蔵野鉄道」という名前の会社でした。

こちらの武蔵野鉄道の歴史について軽く触れます。

1914年4月15日に武蔵野鉄道が武蔵野線として池袋駅と飯能駅の間を開業させました。1929年9月10日には飯能駅と吾野駅の間を開業させ、現在の西武池袋線が全線開通しました。

1945年9月22日に武蔵野鉄道が旧・西武鉄道を吸収合併して、武蔵野農業鉄道という社名になりました。そして、1946年11月15日に西武鉄道という名前になりました。

そして、川越鉄道(旧・西武鉄道)の所沢駅が開業したのは1895年3月21日。その後、武蔵野鉄道の所沢駅が開業したのが1915年4月15日。

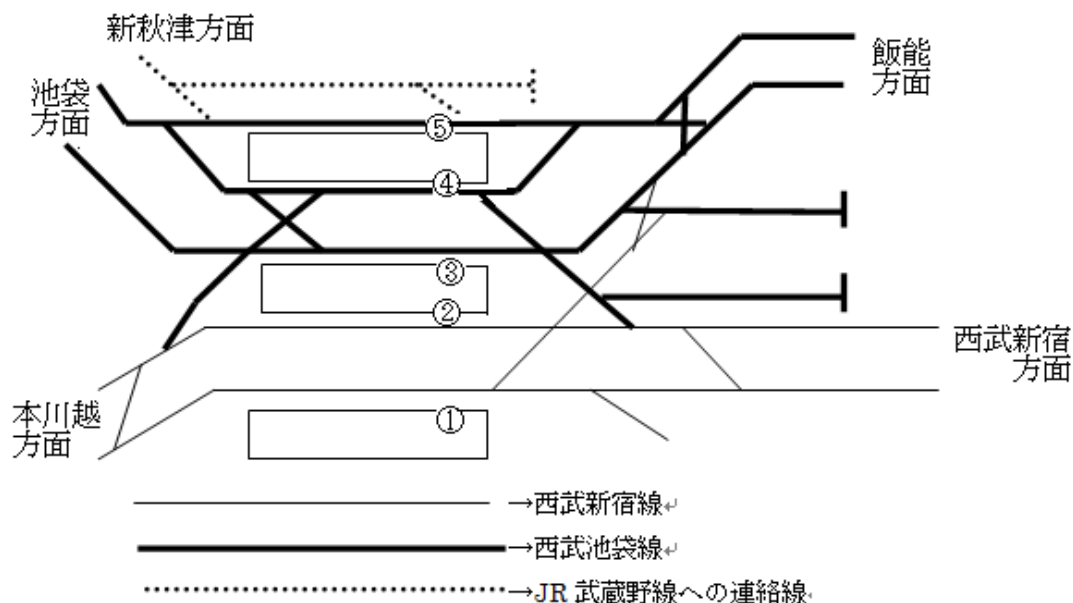
元々武蔵野鉄道はライバル会社の川越鉄道と乗り入れる予定はなく秋津駅から西所沢駅までを直線で結ぶ予定でしたが、貨物輸送で乗り入れるために線路をつなげる必要がありました。そこで後から開業した武蔵野鉄道(池袋線)が川越鉄道(新宿線)の所沢駅に合わせるために現在のような西武池袋線の所沢駅前後の急カーブができたのです。

### 3. 所沢駅構内の配線

所沢駅構内の配線についてですが、構内はわかりにくい配線となっています。

西武新宿線、西武池袋線のほかに甲種輸送のための連絡線への線路もあるのでより一層わかりにくい配線となっています。この甲種輸送のための連絡線というのは池袋線の所沢駅・秋津駅間からJR武蔵野線への新秋津駅に向けて延びている線路です。

この連絡線は西武線で唯一独立している西武多摩川線の車両の全検時や流鉄などへの車両譲渡時、新型車両搬入時などに使用されます。



分かりにくいですが、このような配線になっています。

この配線が次の章で書く、西武ドームへの臨時電車に大きく関わってきます。

#### 4. 西武ドームへの臨時電車

西武ドームの最寄り駅の西武球場前駅は3面6線(狭山線)と1面2線(山口線)の計4面8線となっています。これはホームが4つに線路が8本あるという意味です。通常時、狭山線は1線しか使いません。残りの5線は臨時電車用というまさに、西武ドームのために作られた駅といえます。

そして、本題の西武ドームへの臨時電車について書いていきます。

ここでは、スペースの都合上、狭山線にしぼってのみ書き、レオライナーの山口線は省略させていただきます。

狭山線は路線距離4.2km、駅数が3駅、全線単線という路線です。

通常時の平日朝ラッシュ時は10分間隔、日中は30分間隔、平日夕ラッシュが15分間隔、土休日の朝・夜間は20分間隔で運転されています。

しかし、イベント終了時には7~8分間隔で運転されています。これ以上運転間隔が詰められないのは前述のように狭山線が単線だからです。

西武ドームでイベント(主に野球)が開催された際は以下のような臨時電車が運転されます。(西武時刻表第 23 号より抜粋)

#### 上り

- ・池袋発西武球場前行き 特急「ドーム」
- ・池袋発西武球場前行き 準急
- ・池袋発西武球場前行き 快速
- ・池袋発西武球場前行き 各駅停車
- ・新木場(有楽町線)発西武球場前行き 準急
- ・渋谷(副都心線)発西武球場前行き 準急
- ・渋谷(副都心線)発西武球場前行き 快速
- ・西武新宿発西武球場前行き 急行
- ・西武新宿発西武球場前行き 準急
- ・本川越発西武球場前行き 各駅停車

#### 下り

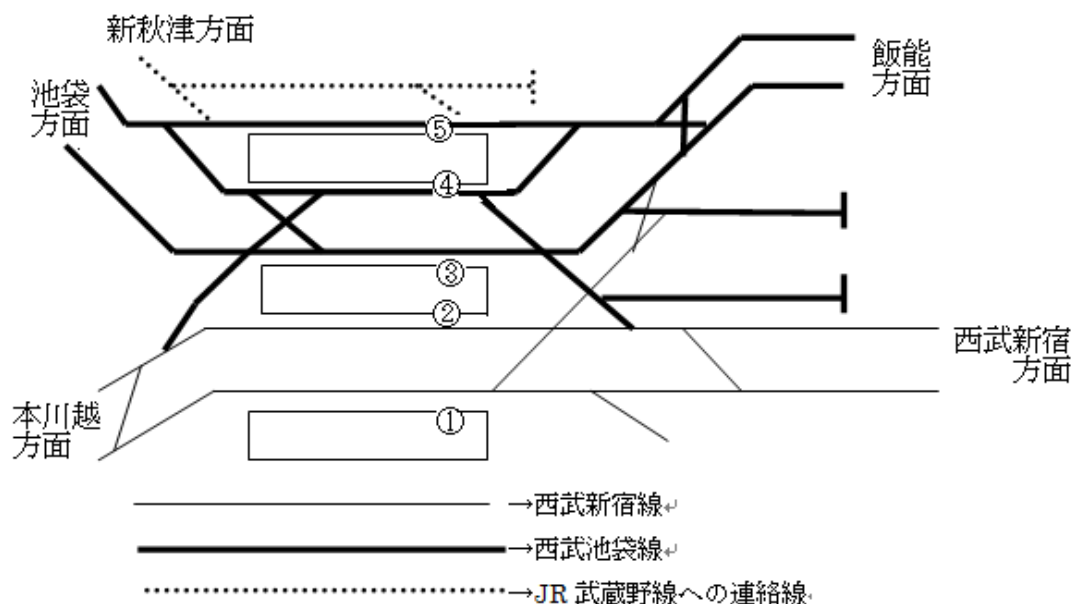
- ・西武球場前発池袋行き 特急「ドーム」
- ・西武球場前発池袋行き 快速
- ・西武球場前発池袋行き 急行
- ・西武球場前発所沢行き 各駅停車
- ・西武球場前発清瀬行き 各駅停車
- ・西武球場前発ひばりヶ丘行き 各駅停車
- ・西武球場前発保谷行き 各駅停車
- ・西武球場前発新木場(有楽町線)行き 各駅停車
- ・西武球場前発渋谷(副都心線)行き 準急
- ・西武球場前発西武新宿行き 急行
- ・西武球場前発本川越行き 各駅停車
  
- ・狭山線(西所沢・西武球場前間)増発

抜粋し忘れていた部分があるかもしれませんが、こんな風になっています。

平日ナイター・土休日デーゲーム・土休日ナイターに合わせて運用がかえられています。

この中で特記すべきなのは西武新宿線の西武新宿方面と本川越方面に臨時電車が運転されていることです。

これは先述の所沢駅の配線によって可能になっています。



所沢駅の配線図をここでもう一度紹介します。

西武新宿発西武球場前行きの電車は連絡線を通り、新宿線と池袋線それぞれの上り線を横断して4番線に停車し、スイッチバックをして発車していきます。

本川越発西武球場前行きの電車は連絡線を通り、池袋線の上り線を横断して4番線に停車し、そのまま発車していきます。

## 5.おわりに…

所沢駅の構造のミステリーと西武ドームでのイベント開催時の旅客輸送についてわかっていただけただでしょうか？

今回は西武ライオンズファンということもあり、この題材を取り上げさせていただきました。

一部間違いなどがあると思いますが、ご了承ください。

最後まで稚拙な文章をご覧くださいありがとうございました。

## 6.参考文献

- ・西武時刻表 第23号 2011年3月1日発行 発行元:西武鉄道
- ・Wikipedia(適宜参照) <http://ja.wikipedia.org/>
- ・えきから時刻表 <http://www.ekikara.jp/>
- ・埼玉西武ライオンズ公式ホームページ <http://www.seibulions.jp/>